

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	幼児教育支援センター運営事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	01	04	02	60
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	濱崎 祐子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住幼児、児童及び保護者	意図	流山市における幼保小連携教育活動の推進・保護者への子育て支援を図る。
事業内容	市内の幼稚園、保育所（園）、小学校の先生が合同で研修や情報交換を行う。幼児、児童（一年生）の保護者や幼稚園、保育所（園）の教諭へ、電話や面接による相談を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	研修会の充実が図れ、幼児教育と小学校教育の理解が深まり、自主的に交流も行われるようになってきた。平成24年度に開設し、研修や関係機関との連携、幼児教育相談の周知が図れ相談件数も多くなった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	幼保小関連教育研究会	167	146	143	人
②	幼児教育相談	136	164	260	件	↑↑↑	相談件数
③	子育て相談会	27	18	17	人	→→	参加人数（保護者）
④	保育研究会	43	35	39	人	→→	参加人数
指標で表すことができない定性的な成果	保護者の幼児教育に関する悩みの解消に繋がっている。幼児教育に携わる職員の研修・情報交換の場になっている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・幼児教育相談は、諸機関との連携が図れニーズに沿った支援や就学相談に繋ぐ事ができた。 ・幼保小関連教育研究会は、参加人数が定着しつつあり、各施設より参加するようになった。 ・子育て相談会は、保護者にとって公民館を会場にすると、参加しやすいようである。			
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,177,227	4,403,732	4,838,889			
事業費(b)(円)		4,177,227	4,403,732	4,838,889			
うち一般財源		4,177,227	4,403,732	4,838,889			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	幼児教育研究室で行っていた事を継承し、幼児教育の推進と諸機関との連携を図り、事業を進める。	③取り組みの課題	幼児教育から学校教育への円滑な移行が出来るように幼保小連携の推進を図る。教育相談、家庭教育の支援を充実させ、子育て支援(保護者支援)を行う。
②今年度(H26)に実施した取り組み	幼保小関連教育研究会 幼児教育相談 子育て相談会 保育研究会	④今後の改善計画	幼稚園・保育所ですぐ実践できる研究会の内容を充実を図り、個々の家庭に寄り添った子育て支援の推進を図る。